

防ごう！石油ストーブによる火災

本格的な冬の訪れにより、石油ストーブなどの暖房器具の使用が始まり、またそれに伴って、これらによる火災も多発します。石油ストーブによる火災の主な原因は、燃えやすい物の接触や落下、消し忘れ、過熱、使用中の給油などさまざまですが、ほとんどが不注意によるものといえます。ストーブは直接火を取り扱うため火災危険度が非常に高いということに十分注意し、火災を発生させないよう心がけましょう。

しょうぼうの広場

火災、救急、救助は・・・
119

ストーブの周りに燃えやすい物を置かない！

- ☆ ストーブの周りには、紙や衣類などの燃えやすい物を置かないようにしましょう。壁際で使用する際には、特にカーテンなどに注意しましょう。
- ☆ ストーブでの洗濯物の乾燥は絶対にやめましょう。乾いてくると衣類は軽くなり、ストーブからの上昇気流で容易に落下します。
- ☆ ヘアスプレーなどが近くにあると、加熱され破裂する危険性があります。すぐそばでの使用も控えましょう。

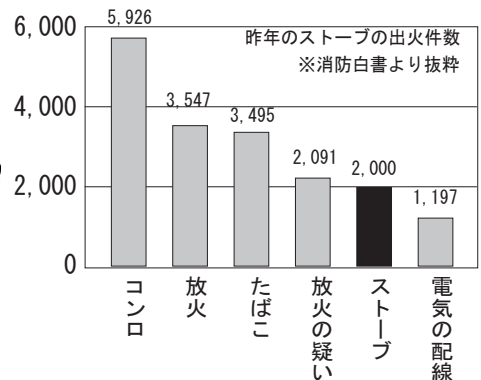
ストーブのまわりに燃えやすい物がないかの確認を！



使う前に点検を！

- ☆ 使う前には十分な点検整備を行いましょ。特に耐震自動消火装置は重要です。
- ☆ 故障している場合は、販売店などで修理してから使用しましょう。素人修理は事故の元です。
- ☆ 取扱説明書をよく読んで正しく使用しましょう。

ストーブを使い始める前には点検を！



給油時など灯油の取り扱いに注意しましょう！

- ☆ どのタイプのストーブでも給油は必ず火を消してから行いましょう。
- ☆ カートリッジタンク式の場合は、給油後タンクのふたを確実に閉めたのを確認してからセットしましょう。
- ☆ 灯油がこぼれたり、あふれたりしたときには、油を良くふき取ってしばらくしてから点火しましょう。
- ☆ 灯油の保管容器は金属製の物、又はポリエチレン製で推奨ラベルか認定証が貼付されているものを使用しましょう。（※右写真参照）またガソリンと間違わないよう、わかりやすく区別しておきましょう。



9月の救急・火災情報



| 救急 | | 火災 | |
|--------|---------|--------|----|
| ◆ 出動件数 | 84件 | ◆ 発生件数 | 0件 |
| ◆ 運んだ人 | 81人 | | |
| ◆ 内訳 | | | |
| 急病 | 41件 38人 | | |
| 交通事故 | 7件 8人 | | |
| その他 | 36件 35人 | | |

消防一口メモ

秋の全国火災予防運動実施
冬到来を目前に控え、空気が乾燥するこの時季は、毎年火災が多発する季節であるため、11月9日から15日までの一週間、秋の全国火災予防運動を実施します。これからだんだん寒くなると暖房器具の使用が始まります。そこでこの運動を機会に一人ひとりが防火意識を高め、火災のない明るいさつま町を目指しましょう。

秋の全国火災
予防運動実施